授業科目名・形態	コミュニケーション技術Ⅱ　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	松本　和剛	実務経験の有無	有	開講期	1年後期
科目ナンバリング	W3-1015c				

【授業の主題】

介護実践における家族およびチームとのコミュニケーションについて学ぶ。家族との協働関係の構築、家族の気持ちや意向の理解、利用者と家族の意向調整、介護ストレスへの対応を理解するとともに、介護福祉職チーム・多職種協働チームにおける報告・連絡・相談、記録、会議、事例検討、情報活用・管理に必要なコミュニケーション技術を修得する。

【到達目標】

1. 家族との協働関係を構築し、家族の気持ち、意向、介護ストレスに配慮したコミュニケーションについて説明できる。
2. 利用者と家族の意向を理解し、それぞれの意向表出や調整を支援するための方法を説明できる。
3. 介護福祉職・多職種協働チームの連携の意義を理解し、報告・連絡・相談、記録、会議等の基本技術を説明できる。
4. 事例検討や情報活用・管理を通して、利用者主体の介護を実現するためのチームコミュニケーションを考察できる。

【授業計画・内容】

第 1 回　家族との協働関係の構築
第 2 回　家族の気持ちと意向の理解
第 3 回　家族の意向表出の支援
第 4 回　家族への助言・指導と意向調整
第 5 回　家族関係と介護ストレスへの対応
第 6 回　チームにおけるコミュニケーションの意義と目的
第 7 回　介護福祉職チームと多職種協働
第 8 回　報告の技術
第 9 回　連絡・相談の技術と環境づくり
第 10 回　記録の意義・目的・種類
第 11 回　記録の方法と書き方
第 12 回　会議・議事進行・説明の技術
第 13 回　事例検討におけるコミュニケーション
第 14 回　情報の活用と管理
第 15 回　まとめ

【授業実施方法】

教科書の内容を中心に講義を行い、家族とのコミュニケーションおよび介護福祉職チーム・多職種協働チームにおけるコミュニケーションについて理解を深める。必要に応じて、事例検討、グループワーク、ロールプレイ、記録作成等の演習を取り入れ、介護実践場面における具体的なコミュニケーション方法を学ぶ。

【事前・事後学習】

各回の授業内容に該当する教科書の範囲を事前に読み、重要事項や疑問点を整理しておくこと。授業後は、教科書・配布資料を用いて授業内容を復習し、事例や演習を通して学んだコミュニケーション技術について振り返ること。

【主な関連する科目】

コミュニケーション技術Ⅰ、介護の基本、人間の理解、高齢者福祉論、生活支援技術、日常生活支援技術演習、障害者福祉論等。

【教科書等】

最新　介護福祉士養成講座 5　コミュニケーション技術（第 2 版）、中央法規、2022.

【参考文献】

必要に応じて、授業の中で適宜提示する。

【成績評価方法】

授業態度・参加意欲等 10%、リアクションペーパー20%、レポート 20%、定期試験 50%の総合評価とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

社会福祉士として、障害福祉分野の相談・就労・生活支援の実務経験を活かし、利用者・家族との関係づくり、意思・意向の把握・調整、多職種連携や情報共有など、支援場面を踏まえコミュニケーション技術を学ぶ授業を展開する。

【学生へのメッセージ】

コミュニケーションは、利用者や家族、多職種とも協働して支援するうえで重要です。本授業では、事例検討やグループワーク、ロールプレイ等を通して、介護場面で必要なコミュニケーションを考えます。積極的に参加してください。